

今日は何の日？

9/8

International Literacy Day 国際識字デー



1965年9月8日からイランの首都テヘランで開催された世界文部大臣会議で、イランのパールビー国王が各国の軍事費1日分を識字基金に充てることを提案したことをきっかけに制定された、識字の重要性を啓発するための記念日です。

字が読めないって、どういうこと？

「識字」とは「字の読み書きができること」です。日本人は読み書きを習う小学校へほとんどの人が通うことができるため、ほぼ100%※の識字率ですが、それは世界を見渡すと当たり前のことではありません。世界の識字率は86%、開発途上国に限ると63%（2016年）。最低レベルはアフリカのニジェールの32%（15 - 24歳・世界子ども白書2019）で、女性に限ると15%。男女格差の問題にもつながっています。

※日本では戦時中など教育を受ける機会がなかった人の中に読み書きできない人がいます。

やってみよう！
Let's Try!

あなたの子どもが高熱で苦しんでいます。
お医者さんに電話すると
「今日1日外出先から戻れないので、
わたしの机の上にある薬を急いで飲ませて！」と言われました。



テーブルには3つのビンがありました。

さあ、あなたはどれを選びますか？
中身は薬、水、そして農薬(毒)です。
間違えて薬以外を選んでしまったら
どうなりますか…？

読める人には当たり前の文字ですが、
読めない人にはどんな風に見えるかな？
この文字はヒンディー語です。

पानी • जहर • दवा

字が読めないとどんなことが起こるでしょう？

世の中のほとんどの情報には文字が使われています。貼り紙、新聞、商品のラベル…。文字が読めないと、これらの情報を手に入れて正しく理解することができません。

文字が読めないと…

- ・病気や事件・事故のニュースなどが伝わらず命の危険にさらされる
- ・新聞や掲示が読めないの、選挙や政治の情報が届かない
⇒社会活動に参加したり意見を伝えたりできず、
権力者の都合の良い社会になってしまう
- ・仕事に必要な知識や新しい情報が得られない
⇒商売が発展せず、貧困から抜け出せない
- ・文字が読める人にだまされる ⇒ 不当な契約書にサインしてしまう

識字率を上げるには？

人が健康で安全な生活を送ったり、社会や経済を発展させたりするには、「文字の読み書きができる」ことが重要なことがわかりましたか？

「読み書きを習うこと」とはつまり「教育」です。教育を行き渡らせることは、人々が貧困から抜け出すための一番の方法なのです。

児童労働をなくし子どもが学校に通えるようにすること、学校を作ること、子どもたちに教科書やノート、筆記用具を届けること…。教育を受けた子どもたちが大きくなると、ふるさとの発展の大きな力になります。

FREE THE CHILDREN

認定NPO法人
フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

〒172-0062 東京都世田谷区南烏山
TEL03-6321-8948 / info@ftcj.org / https://ftcj.org

1995年に当時12歳のカナダのクレイグ少年によって貧困や搾取から子どもを解放することを目的に設立された「Free The Children」に共感し1999年から日本で活動をはじめたNPOです。国際協力活動と並行して、日本の子どもや若者が国内外の問題に取組み、変化を起こす活動家になるようにエンパワーしています。